

# 山行報告書

報告書作成

山本(則)

山名 [山域]	霊仙山1084m(西南尾根)	目的と方法	花を愛でる
登山期間	2012年5月19日(土)	山行形態	日帰り周回
参加人数	2人		

## 行動記録

碧海信用金庫今村支店P(530)=豊田南IC=関が原IC=コトノ=樽畑登山口(740,800)-汗拭峠(820)-落合(850,900)-笹峠-近江展望台付近(1100,1230)-南霊仙山-最高地点(1305,1315)-霊仙山(1325,1330)-経塚山(1345)-汗拭峠(1440,1445)-樽畑登山口(1500)=薬草湯「ジョイ伊吹」(1540,1640)=伊吹野(1700,1730)=関ヶ原IC(1800)=豊田南IC=碧海信用金庫今村支店P(1930)

## 概念図



## 日誌

醒ヶ井養鱒場を過ぎ、樽畑登山口まで車で入った。登山口には車数台が駐められるスペースがある。一杯の場合、そこでUターンし、道路脇にも駐車は可能だ。ここにトイレはない。登山届提出後、汗拭峠に向かう。途中のかなやでは冷たい飲み物を売っている。汗拭峠より、一旦落合に下り、今畑より西南尾根に取りついた。植林帯を抜けると広葉樹の林となる。心が安らぐ。さらに進むと岩がゴロゴロした急斜面となる。展望がよく、キランソウ、イチリンソウ、ツボスミレ、ケマン、ウラシマソウなどが咲いたとっても気持ちの良い尾根だ。登り切って傾斜が緩やかになったところが近江展望だ。ここから南霊仙までの間でヤマシャクヤクが見られた。この後は、樹林の無い開けた稜線を、最高点、霊仙山、経塚山と進む。この間ずっとイチリンソウが咲いていた。経塚山より汗拭峠を通り、樽畑登山口まで下山した。

## 感想

霊仙といえば笹に覆われた山という印象があったが、久しぶりに登ったら、笹がすべて枯れていた(新芽が出だしてはいたが)。CLの話では、60年に一度の花が咲き、寿命が尽きたためとのこと。おかげで、霊仙のたおやかな山容を何も遮る物なく眺めることができた。天気に恵まれ、初夏の一日を楽しむことができた。